



滝小だより

滝頭小学校学校だより 2022nd

令和4年8月29日

8・9月号

横浜市立滝頭小学校
校長 金子 郁規

手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小



Hand in hands , Shining Smiles , We ♥ TKG

〒235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344、0345 Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/>

滝頭小 検索

「体験から経験、そして学習へ」

副校長 杉田 仁

5年生は、7月5日から一泊二日で三浦宿泊体験学習に行ってきました。新型コロナの影響で、4年生では宿泊体験学習が出来なかったため、子どもたちにとって初めての宿泊体験学習でした。今年は例年よりも梅雨明けが早く、暑い日が続いたので、水分を多めに購入したり、塩分補給用のタブレットを購入したりして熱中症対策を講じました。また、直前には台風が接近し、予定通りに活動ができるか心配もありました。一日目は少し雨が降りましたが、予定通り活動を行いました。二日目は高波の影響で楽しみにしていたシーカヤックはできず、フォトフレーム作りとなりましたが、子どもたちは、二日間とも元気いっぱいでした。

さて、この夏に岡山大学准教授の中山芳一（なかやま よしかず）先生のお話を伺う機会がありました。中山先生は学童保育指導員を経験し、その後研究者の道へ進みました。現在は、「非認知能力」についての研究をされています。「非認知能力」とは「点数化・数値化することが困難な力」のことです。例えば、「コミュニケーション力」（他者とやりとりできる力）、「思いやり・感受性」（他者の立場や思いに立てる力）、「忍耐力」（がまんする力）、「自信・自尊感情」（自分をプラスにとらえる力）、「意欲」（前向きにがんばろうとする力）などの力です。現在の学習指導要領の中で資質・能力の三つの柱の一つに位置づけされている「学びに向かう力、人間性等」がこの「非認知能力」に該当します。

お話を伺う前に知識を得ようと思い、中山先生の著書を購入しました。その著書の中で「理論や知識を頭の中へインプットする認知能力ではなく、コミュニケーション力のように状況や文脈に応じて実践するための非認知能力を獲得・向上するためには、自分から様々な体験を通じて学んでいく必要があるのです。（中略）一方的に教えられる学びから自分から体験することによる学びへと移行しなければ、非認知能力の獲得・向上にはつながらないからです。」と中山先生は述べています。また、「『体験』とは、そのときに個人が実際に身をもって取り組んだこと。『経験』とは、体験が自分の中へ内面化（体験したことによって自分の中で気づきや発見があったり、感情的な動きがあったりする過程で、体験がどんどん自分の中へ入り込んでいくこと）すること。『学び』とは経験に基づいてこれから必要となるであろう教訓（実践知）を導き出したり、すでに内面化されたほかの経験や外部から取り入れた知識・情報などに関連付けて、共通点や相違点を見出したりすること」とも述べています。

5年生は二日間で多くの体験をしました。9月には4年生が宿泊体験学習を実施する予定です。行事だけでなく、日頃の学校生活においても、様々な体験を積み重ね、経験へと繋ぎ、そして学習へと発展できるよう、学校でも取り組んで参ります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をこれからもよろしくお願いいたします。